

RDAと、セマンティック・ウェブの中の図書館の役割

参考文献

1) 『RDA』: 図書館をセマンティック・ウェブに適したものに. カレントアウェアネス CA1767 No 311 (2012.3)

(原著論文 Tillett, Barbara B. Keeping Libraries Relevant in the Semantic Web with RDA: Resource Description and Access. Serials. 2011, 24 (3), p. 266-272)

2) 新しい知識と情報の組織化: RDAの理念と実践. RDA Workshop Tokyo 2013 (B.B.ティレット氏によるワークショップ 2013年9月5日・6日 学習院女子大学)

目次

スペシャリストをめざす人に
ジェネラリストをめざす人にも

1. デジタル化社会における大学図書館
2. 目録規則が変わるってよ (目録の世界観の変貌)
3. RDAの目次構成 (FRBRをベースとした概念モデル)
4. 目録はどう変わるか/変わらないか

付録: RDAの実装とNACSIS-CAT (フレームワークなど)



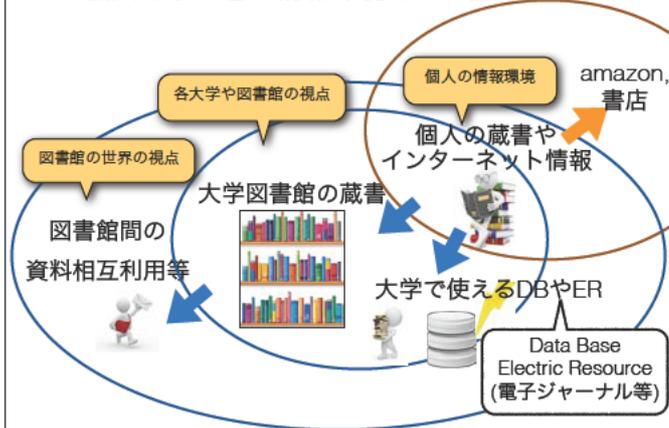
写真: 東京都市大学図書館・第1回研修分科会

1. デジタル化社会における 大学図書館

デジタル化社会における大学図書館

- | | |
|--|---|
| <p>資料の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電子ジャーナル • 機関リポジトリ • 電子書籍... | <p>様々なオンラインサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> • オンラインカタログOPAC • オンラインレファレンス • オンラインリクエスト (文献複写・現物貸借・購入希望・紹介状発行・セミナー申込み) • オンデマンドセミナー • 広報:RSS・twitter・facebook・メールマガジン • NDLデジタル化資料送信サービス... 等々 |
|--|---|

個人を取り巻く情報環境をどう捉えるか



本当に変わってきているかを調査結果から見てみましょう...

SCREAL 調査報告書: 学術情報の取得動向と電子ジャーナルの利用度に関する調査 (電子ジャーナル等の利用動向調査 2011)

SCREAL Report: Results of a Survey on Information Access and E-journal Usage of Researchers and Graduate Students, 2011

学術情報資源の利用

例えば電子ジャーナルの利用状況だけでなく、印刷体雑誌の必要性も2007と2011で比較

学術情報の取得動向

論文を読んだ形式、論文の発見手段、論文を読んだ場所、等々

学術論文の利用目的

論文利用の効果

2014年3月

学術図書館研究会

委員長: 東北学院大学文学部 佐藤義則教授

電子ジャーナル導入とILLの動向

学術情報基盤実態調査
平成24(2012)

種数の統計

大学図書館実態調査
平成14(2002)

1大学平均	印刷物			電子ジャーナル		合計
	和雑誌	洋雑誌	合計	国内	国外	
国立大学	12,954	8,124	21,078	689	8,948	9,667
私立大学	2,489	1,047	3,536	429	3,665	7,201

1大学平均	印刷物			電子ジャーナル		合計
	和雑誌	洋雑誌	合計	国内	国外	
国立大学	9,266	6958	16,215	1,792		17,997
私立大学	2,429	1,176	3,605	429		4,034



この傾向がおこったか

2012の私立1大学平均のEJの種数は、10年前の全種数に匹敵 = ビッグティール

国立情報学研究所ホームページより
NACSIS-ILL利用統計
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/stats/ill/reqnum.html>

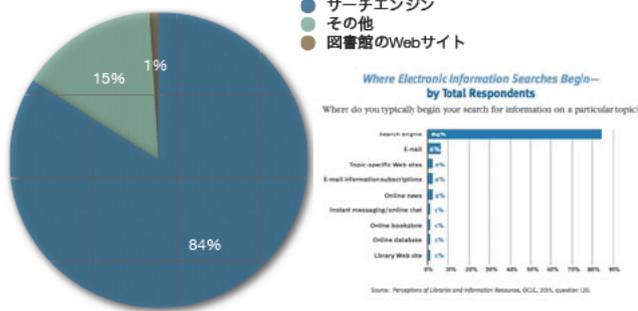
7

米国の図書館のホームページではオンラインレファレンスが当然

8

インターネット社会での図書館への期待度

Perceptions of Libraries and Information Resources (2005) OCLC調査 p. 1-17

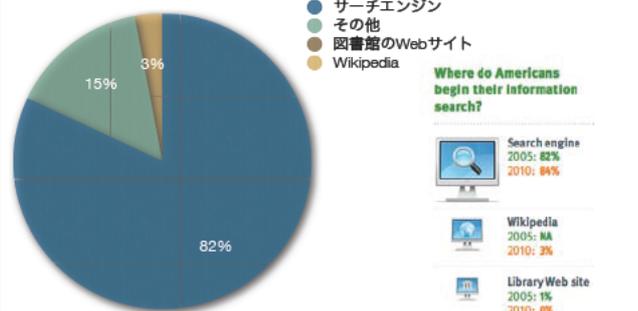


http://www.oclc.org/reports/pdfs/Percept_all.pdf

9

インターネット社会での図書館への期待度

Perceptions of Libraries, 2010 Context and Community (2010) OCLC調査 p. 32



http://www.oclc.org/reports/2010Perceptions/2010perceptions_all_singlepage.pdf

0

インターネット社会での図書館の役割

Wikipedia v.s. 百科事典

Yahoo!知恵袋 v.s. 図書館レファレンス

違いのポイントは何か?

学生(利用者)はどっちを使う?

どうやって使い分ける?

図書館のライバルは?

ネット情報はライバル?

インターネット社会での図書館の役割

Googleのミッションは、実は図書館と同じ?

どこが違って、図書館でしかできないことは何か?

ネット情報とは協働関係? 例: HathiTrust

2

目録の世界の変化→何のための目録かを問い直す

FRBR

目録の世界も、「ネット世界に開かれた」がポイント

RDA (Resource
Description & Access)

LOD (Linked Open Data)



3



写真：東京大学総合図書館

2.目録規則が変わる
(目録の世界観の変貌)

4

『日本目録規則』は？

カレントアウェアネス ポータル

2013年9月30日

国立国会図書館収集書誌部と日本図書館協会目録委員会が連携して、RDAに対応した新しい書誌データ作成基準として新しい『日本目録規則』の策定へ

Posted 2013年9月30日

国立国会図書館収集書誌部と日本図書館協会目録委員会が連携して、「Resource Description and Access (RDA)」に対応した新しい書誌データ作成基準として新しい『日本目録規則』を策定します。

国立国会図書館収集書誌部は、2013年2月に「国立国会図書館の書誌データ作成・提供の新展開（2013）」を策定し、今後5年間の当該の書誌データ作成・提供の方向性を示しました。このうち第3項では、「資料と電子情報のそれぞれの特性に適した書誌データ作成基準を定める。」として、「国際目録原則宣言」等の国際標準や「日本目録規則」改訂等の国内の動向などに留意し、特に「Resource Description and Access：RDA」に対応した書誌データの作成基準を定めることとしていました。

このRDAに対応した新しい書誌データ作成基準の策定について、国立国会図書館収集書誌部と日本図書館協会目録委員会とが連携して、「日本目録規則」を全面的に新しく策定するための作業を進めるとし、2013年9月30日、両者連名の文書「『日本目録規則』改訂の基本方針」を公表しました。

『日本目録規則』改訂の基本方針（日本図書館協会目録委員会、国立国会図書館収集書誌部、2013/8/22付け）
<http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/newncpolicy.pdf>

新しい『日本目録規則』の策定に向けて（国立国会図書館収集書誌部）
<http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/newncr.pdf>

平成29年度 新規則の公開
(2017年度)

5

RDA(2010.6)の背景：何故AACR3ではないか？

1. **Anglo American**→国際化(インターネットの普及でAnglo Americanという意味がなくなった。既に60か国以上で使われていた。多言語が当たり前。)

2. **Cataloging rule** (カード目録の考え)からの脱却=利用者から見た目録の機能要件 (FRBR) に基づいた考え方の再構築→関連で表現するセマンティックWeb

3. 多様な媒体への対応...→これまでの資料媒体ごとの構成の限界

6

なぜ変わらなければならないのか

- (1) 図書館の在り方が変わってきた
- (2) 資料が多様化してきた→AACR2目次の構成の限界
- (3) 図書館はインターネットの世界とより親密になろう

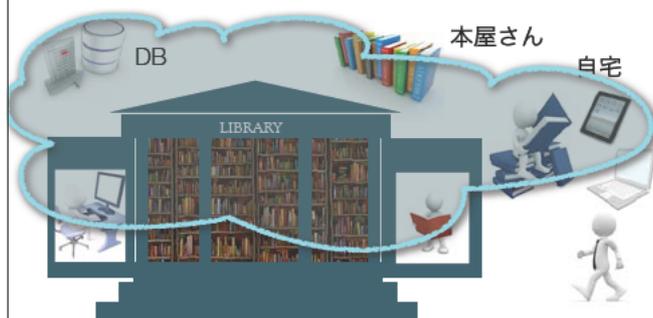
これらは日本の大学図書館業務でも共感できるのでは？

7

(1) 図書館の在り方が変わってきた

現在の「図書館」のイメージ

人は図書館に来なくてもさまざまな方法で資料を利用できる

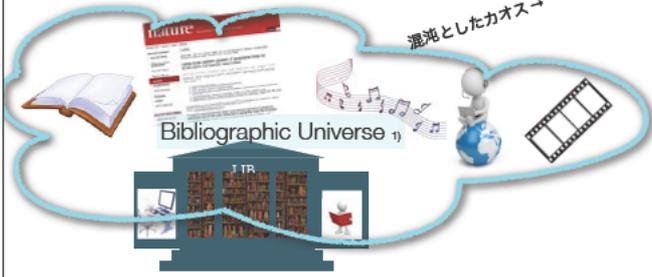


8

デジタル化社会における大学図書館像

これからの図書館の役割

資料と、人々（もしくは関係者）・ことがらを結びつける



1)新しい知識と情報の組織化：RDAの理念と実践 RDA Workshop Tokyo 2018
(B.B.ティレット氏によるワークショップ 2018年9月6日・8日 学習院女子大学)

9

(2)資料が多様化してきた→AACR2目次の構成の限界 AACR2の枠組み

第I部記述

- 序論
- 第1章記述規則
- 第2章図書、パンフレットおよび印刷した一枚もの
- 第3章地図資料
- 第4章手続(子機軸を含む)
- 第5章楽譜
- 第6章録音物
- 第7章映画およびビデオ映画
- 第8章電子図書館資料
- 第9章機械可読アーチファイル
- 第10章3次元工芸品・美術
- 第11章マイクロ資料
- 第12章逐次刊行物
- 第13章分注

第II部 標目、統一タイトルおよび参照
序論
第21章アクセス・ポイントの選定



メディア
キャリア
コンテンツ

第II部 標目

如何に的確な見出し語を
たてるか

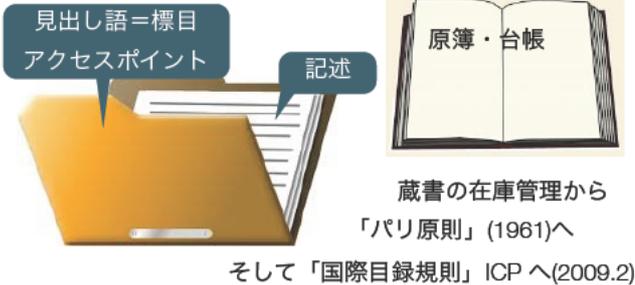
第I部 記述

如何にカードに簡潔に
概要を押し込めるか

20

従来の「目録」のイメージ

現在のオンライン目録は、テキスト情報を直線的に表示した
カード目録の電子バージョンにすぎない。1)



2

関連で表現するセマンティックWebのイメージ

我々が提供するメタデータは、出版履歴の時間的変遷、出版地を示す世界地図等のような、さらに興味深い視覚的情報の中に再編集することができる(VIAF の視覚的表示を見よ) 1)



22

(3)図書館はインターネットの世界とより親密になる 「目録」のイメージを「書誌的宇宙」へと変換 2)



23

閉じた図書館の視野→ FRBR(1998, 2009) 1)

- 図書館員（カタログガー）しか知らない略語
例) ill., [s.l.], [s.n.], [sic], [i.e.]
- 3のルール等
例) 役割表示の同じ著者は3人まで
例) 肩書きは省略, 出版者は識別できる限りにおいて簡潔に
- ISBD区切り記号やシステム独自の典拠

Linked Open Data的

発見、識別、選択、入手という基本的な利用者タスクに見合うように、資源の記述において識別特性を対応させることに焦点をあてる

24



写真：専修大学生田図書館

3.RDAの目次構成 (FRBRをベースとした概念モデル)

RDAの目次構成

資料種別毎の章立てではなくなった

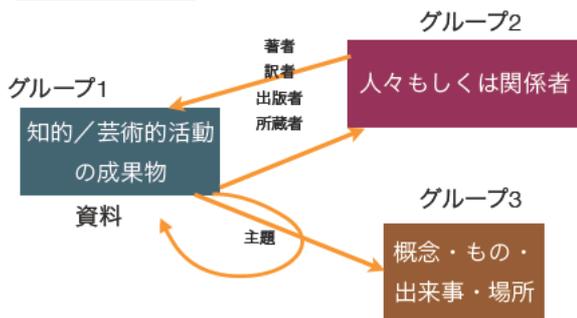
Attributes 属性

- Section 1: Recording Attributes of Manifestation and Item
- Section 2: Recording Attributes of Work and Expression
- Section 3: Recording Attributes of Person, Family, and Corporate Body
- Section 4: Recording Attributes of Concept, Object, Event, and Place
- Section 5: Recording Primary Relationships between Work, Expression, Manifestation, and Item
- Section 6: Recording Relationships to Persons, Families, and Corporate Bodies
- Section 7: Recording Relationships to Concepts, Objects, Events, and Places
- Section 8: Recording Relationships between Works, Expressions, Manifestations, and Items
- Section 9: Recording Relationships between Persons, Families, and Corporate Bodies
- Section 10: Recording Relationships between Concepts, Objects, Events, and Places

Relationships 関連

実体を概念化して捉える：FRBRの実体関連モデル

3つのグループ



実体を概念化して捉える：FRBRの実体関連モデル

目次構成

Attributes 属性

- Section 1: Recording Attributes of Manifestation and Item
- Section 2: Recording Attributes of Work and Expression
- Section 3: Recording Attributes of Person, Family, and Corporate Body
- Section 4: Recording Attributes of Concept, Object, Event, and Place
- Section 5: Recording Primary Relationships between Work, Expression, Manifestation, and Item
- Section 6: Recording Relationships to Persons, Families, and Corporate Bodies
- Section 7: Recording Relationships to Concepts, Objects, Events, and Places
- Section 8: Recording Relationships between Works, Expressions, Manifestations, and Items
- Section 9: Recording Relationships between Persons, Families, and Corporate Bodies
- Section 10: Recording Relationships between Concepts, Objects, Events, and Places

Relationships 関連

グループ2
Person, Family, and Corporate Body

グループ3
Concept, Object, Event, and Place

グループ1：資料
Work, Expression, Manifestation, and Item

実体を概念化して捉える：Work

『ハリーポッター』って最後はどうなるんだっけ？
『吾輩は猫である』を読んだことある？
クイズです。『銀河鉄道の夜』の著者は誰でしょう。

グループ1

Work 著作	著作（漠然と作品を指し示す） ²⁾ 抽象的実体＝具体化されていない アイデア 「個別の知的・芸術的創造」(FRBR)
Expression 表現形	
Manifestation 体現形	
Item 個別資料	

資源について記述するための要素：Work

『ハリーポッター』って最後はどうなるんだっけ？
『吾輩は猫である』を読んだことある？
クイズです。『銀河鉄道の夜』の著者は誰でしょう。

グループ1

Work 著作
Expression 表現形
Manifestation 体現形
Item 個別資料

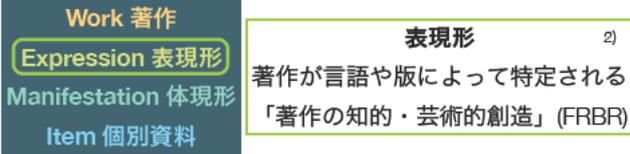
oID ²⁾
oTitle
oDate
oetc. preferred

「好みの」「望ましい」
「選定タイトル」

実体を概念化して捉える：Expression

『ハリーポッターと賢者の石』の日本語版 松岡祐子訳

グループ1

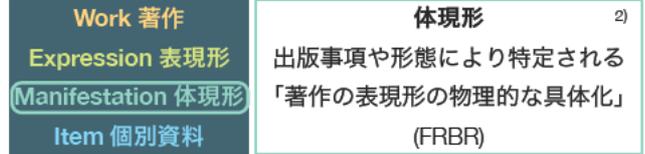


3

実体を概念化して捉える：Manifestation

『ハリーポッターと賢者の石』 静山社 1999年 462p 22cm

グループ1



32

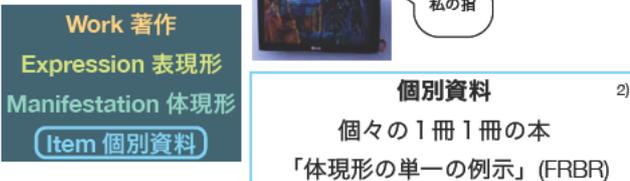
実体を概念化して捉える：Item



うちにあるこの本

私の指

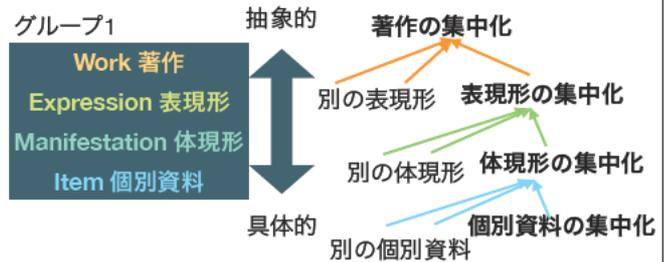
グループ1



33

実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(1)集中化²⁾

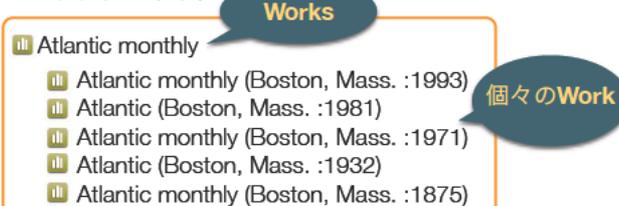
自動的に継承することでカタログリングは楽になる



34

実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(1)集中化²⁾

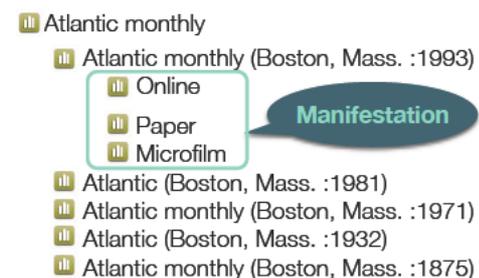
逐次刊行物の集中化



35

実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(1)集中化²⁾

逐次刊行物の集中化



36

実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(1)集中化

2)

逐次刊行物の集中化



37

実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(2)貸出

2)

著作を特定

J.K. Rowlingの『ハリーポッターと賢者の石』ならどれでもいい

グループ1



抽象的

具体的

表現形を特定

日本語に翻訳されたものが読みたい

体现形を特定

静山社から1999年に出版された本文庫本で読みたい

個別資料を特定

この大学図書館所蔵のものが読みたい

38

RDAの構成：詳しくは「RDA Toolkit」を使ってみよう

39



写真：東洋文庫

3. 目録はどう変わるか/変わらないか

40

目録業務はどう変わるか？

考え方

目録の概念を変える

現状を継承しつつ変えていく

もっと簡単に

変わることが目的

でも、本質はたいして変わっていない

相手=リソースは変わらないので、そこからメタデータを作成する作業としては変わり様がない

本当に簡単になるの？

4

目録業務はどう変わるか？

Linked Open Data的

関連を重視、かつ共通の元素セットを使う
→Open metadata registry

42

要するに
Shared dataでは？

目録業務はどう変わるか？

2014.3.17 「総合目録データベースのデータ公開方針について」 NIIのHP

検索 | Results | Advanced | Terms of Use & Use of Cookies | Help

isni

2014.3.17 1 hits

labels sources date marc21

Please help us improve this record
If you have any supplemental information about the identity listed here, please add it in this box to go to the distribution form.
Thank you in advance!

ISNI: 0000 0000 9187 9289
Name: Bakin, Takizawa
Bakim, Takizawa
Chosokabe
Daio, Sanjin
Gyokureishi
Kawachi
Katsunori
Kiyotake, Bakin
Kiyotake, Shujin
Kiyotomo
Mingosha, Cyoin
Mitsuzakiya
Mumata
Sanyugon
Takizawa, Bakin
Takizawa, Bakin
Takizawa, Kai
Takizawa, Okikuni
Takizawa, Tokuro

制作
Start
ISNI
で、

43

目録業務はどう変わるか？

変わらない本質：情報源から必要な書誌的要素を転記し、構成する

より大事なのは関連

Access アクセス

Description 記述

Resource 資源・情報源

著者は3人まで
「Department」は省略

そのまま書いてある
通りでいいよね

紙ベースの時代

Bone digitalの時代

44

どう変わるか

実はRDAはフォーマットを規定していない

ISBDの区切り記号や
MARC21フォーマット等

なら、何を規定しているのか

Goals: RDA will be...²⁾

- 記述とアクセスに関する基準
- 現在のデジタル世界に則したデザイン

45

どう変わるか: Goals of RDA²⁾

- オンライン、ネットワーク環境でも適用できること
- すべての種類のメディアに対しても、効果的な書誌コントロールができること
- 図書館以外のコミュニティでの利用を促進すること
- 他の類似の基準との適用性があること
- 国際的に同意に達した原則に基づいた、論理的な構造をもつこと
- コンテンツとキャリアのデータを別にもてること
- ...

46

どう変わるか: 私のイメージ

共同が重要

図書館の共同の役割

表現形

体現形

著作

ネット世界で共同

人々もしくは関係者
VIAF

概念・もの・出来事・場所
Wikipediaでもいいのでは？

個々の図書館の役割

個別資料

OPACの目的は個別資料の管理。
各館のディスカバーもいらない。

47

CA Current Awareness Portal
図書館に関する最新情報ポータル

2014年5月20日

カレントアウェアネス・ポータルは、図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、ホーム

オーストラリア国立図書館がWikipediaと連携 オーストラリア関連記事のノートページに「図書館員に聞く」リンクを設置
Posted 2014年5月20日

2014年5月14日、オーストラリア国立図書館とWikiProject Australiaが連携し、Wikipedia英語版のオーストラリア関連記事のノート (Talk) ページに「図書館員に聞く」("Ask a librarian") リンクを設置する試みを始めたことが発表されました。

WikiProject AustraliaはWikipedia英語版におけるオーストラリア関連記事の収録範囲拡大や記事内容の改善を図るプロジェクトです。新たに設置された「図書館員に聞く」リンクをクリックすると、オーストラリア国立図書館のオンラインレファレンスへと案内され、質問者の国籍に関わらず記事執筆に必要な内容を得ることが出来ます。質問にはオーストラリア国立図書館のResearch Librarianが、1件あたり最大1時間までかけて対応するとのことです。

'Ask a librarian'—connecting Wikimedians with the National Library of Australia; watch 'Cracking Wikipedia' (Wikipedia Signpost, 2014/5/14付け)
http://en.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:Wikipedia_Signpost/2014-05-14/News_and_notes

48



実装の動向

RDA Implementation: As of April 1, 2013 the U.S. Library of Congress and the British Library are using RDA as their official descriptive cataloging standard. Read the announcements from the [Library of Congress](#) and the [British Library](#). [Click here to follow who has implemented RDA or has plans for implementation.](#)

RDA Toolkit >RDA Implementation (実装)

Currently Cataloging in RDA National Libraries

- Bibliothèque et Archives nationales du Québec
- British Library
- Library of Congress (US)
- National Agricultural Library (US)
- National Library Board, Singapore
- National Library of Australia
- National Library of Medicine (US)

Other institutions

- Brigham Young University (US)
- Cambridge University (UK)
- Courtauld Institute (UK)
- North Carolina State University (US)
- OLS/Bodleian Library (UK)
- University of Chicago (US)
- University of Warwick (UK)
- U.S. Government Printing Office in Progress or Proposed implementations

National Libraries

- Deutsche Nationalbibliothek (2014)
- Koninklijke Bibliotheek (Neth.) (2013-14)
- Library and Archives Canada (2013)
- National Library of Australia (2013)
- National Library of Finland (2015)

USMARC

<GB72146954> CRTDT:20130527 RNWDT:20130527

GMD: SMD: YEAR:2013 COUNTRY:us TITL:eng TXTL:

ISSN: NBN: LCCN:2013371078 NDLCN:

REPRO: GPON: OTHN:

VOL: pbk ISBN: 9780314276452 PRICE: XISBN:

VOL: pbk ISBN: 0314276459 PRICE: XISBN:

TR: Introduction to law practice: organizing and managing legal work / by Professor Gary A. Munneke, Professor of Law, Pace University School of Law

ED: Fourth edition

PHYS: xvii, 512 pages : 27 cm

NOTE: Includes bibliographical references (pages 417-421) and index.

PTBL: American casebook series <> // a

AL: *Munneke, Gary A. <>

CLS: LCC: KF318.A7

SH: LCSH: Practice of law -- United States // K

SH: LCSH: Law offices -- United States // K

SH: FREE: Casebooks. lcfj // J

REM: 001:2013371078\$003:DLCS00520130517154543:0008:130517s2013 mnu b 001 0 eng \$010: Pa 2013371078\$043: YaDL CVbengMcDLXmda\$042: Xapoc\$043: Yarusu\$000:00kM06 2013\$204: 1YaSl: Paul, MN :YbThomsonWestVc[2013]: 336: YalxIW2daconten: 37: YauunmediatedV2rdamedis: 338: Yavolume V2rdacarie\$77: 5.08Vi: Revision of YaMunneke: Gary A: Law practice managementV03rd ed: NUGS: Paul, MN : ThomsonWest, c2007

最近の参照ファイルのデータ (2014.1以降はPUB等のマッピング修正)

PUBがない?!

何?コレ!

Fourth edition

xvii, 512 pages ; 27 cm

pages 417-421

NOTE: Includes bibliographical references (pages 417-421) and index.

PTBL: American casebook series <> // a

AL: *Munneke, Gary A. <>

CLS: LCC: KF318.A7

SH: LCSH: Practice of law -- United States // K

SH: LCSH: Law offices -- United States // K

SH: FREE: Casebooks. lcfj // J

REM: 001:2013371078\$003:DLCS00520130517154543:0008:130517s2013 mnu b 001 0 eng \$010: Pa 2013371078\$043: YaDL CVbengMcDLXmda\$042: Xapoc\$043: Yarusu\$000:00kM06 2013\$204: 1YaSl: Paul, MN :YbThomsonWestVc[2013]: 336: YalxIW2daconten: 37: YauunmediatedV2rdamedis: 338: Yavolume V2rdacarie\$77: 5.08Vi: Revision of YaMunneke: Gary A: Law practice managementV03rd ed: NUGS: Paul, MN : ThomsonWest, c2007

最近の参照ファイルのデータ (2014.1以降はPUB等のマッピング修正)

PUBはREMに?

見慣れない言葉

実装の動向

「国立国会図書館の書誌データ作成・提供の新展開 (2013)」
NDL書誌情報ニュースレター2013年2号 (通号25号)

書誌データ作成基準を定めるにあたって、ポイントとなるのが“Resource Description and Access” (RDA) です。

資料と電子情報を一元的に扱います。それを実現するための新しい『書誌データの容れもの』(書誌フレームワーク)を構築し、新しい容れものに合わせた新しい『書誌データの容れ方』(書誌データ作成基準)を策定します。

洋図書等の資料群に対して、2013年4月1日からRDAの適用を開始しました。
...NCRを適用している資料群についても、RDAに対応した書誌データ作成基準を定めます。

新たな書誌フレームワーク BIBFRAME

BIBFRAME.ORG

BIBFRAME Editor

<http://bibframe.org/tools/editor/>

Get the code here. In the meantime, select a Profile below to get started.

Instance

Authorized access point

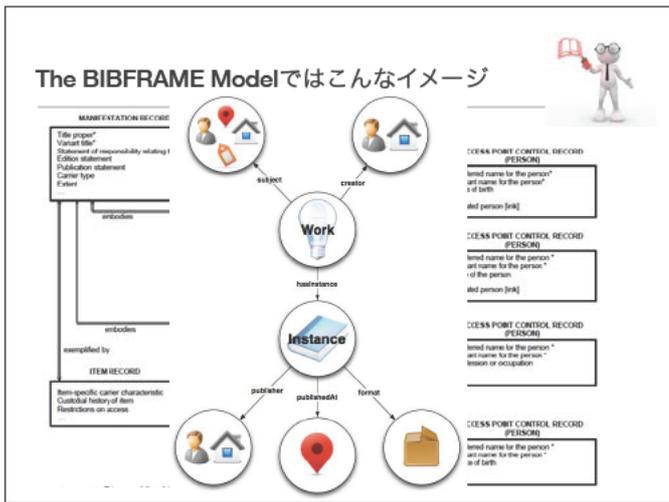
Property value

Any title

Title variation

Transcribed title

Abbreviated title



付録
 そこで、最後に我らのNACSIS-CATをみてみよう

もしかすると、世界で最初にRDAの理念を実現できるかも...

2013.10.18. IAL ティレットさんを囲む会でのプレゼン資料

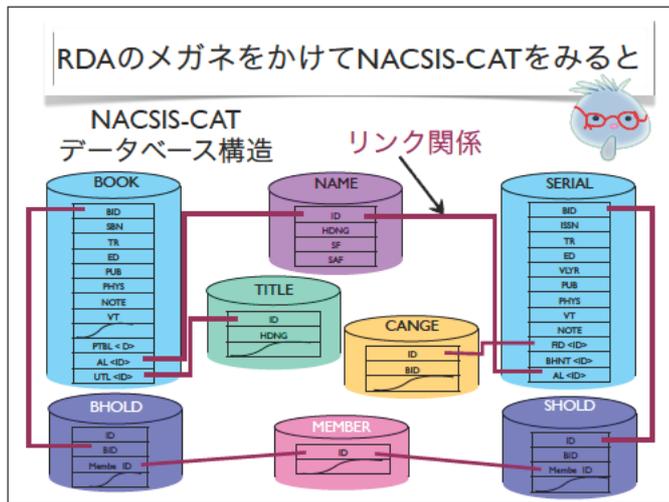
ところが、OCLCも...

OCLC Announces 197 Million Open Bibliographic Work Descriptions

OCLC is pleased to announce the availability of **WorldCat Works**. With this release OCLC has created work descriptions for bibliographic resources found in **WorldCat**, bringing together multiple manifestations of a work into one logical authoritative entity. A work is a high-level description of a resource containing information such as author, name, descriptions, subjects etc., common to all editions of the work.

This release marks the first step in what will be a revolutionary journey, to provide **interconnected linked data views of the rich entities** (works, places, concepts, people, organizations and

<http://oclc.org/en-US/data.html>



RDAのメガネをかけてNACSIS-CATをみると

NACSIS-CATの構造

子書誌レコードの例

FILE:BOOK
 <BN07078781> CRTDT:19920127 RNWDT:19941118
 CRTFA:FA001379 <FA001379>
 RNWFA:FA014064 <FA014064>
 YEAR:1971 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn NDLCN:71006187 NBN:JP75001202
 PRICE:1200円
 TR:万葉集 / 折口信夫訳||マンヨウシュウ
 PUB:東京 : 河出書房新社 , 1971.4
 PHYS:537p : 図 ; 23cm
 NOTE:付万葉代証記(奥沖著 中西進訳) 万葉考(賀茂真淵著 中西進訳)
 PTBL:日本の古典 / 久松潜-[ほか]編||ニホンノコテン<BN06293064> 2//a
 AL:折口信夫(1887-1953)||オリクチ, シノブ <DA0035611> 訳
 UTL:万葉集(奥沖 : KOTEN:502385) <EA00358705>

Relationship Designators
 関連識別子

親書誌レコードにリンク

Parent Bibliography Link

RDAのメガネをかけてNACSIS-CATをみると

NACSIS-CATの構造

親書誌レコードの例

FILE:BOOK
 <BN06293064> CRTDT:19910604 RNWDT:19930202 CRTFA:FA001244
 <FA001244>
 RNWFA:FA007670 <FA007670>
 CNTRY:ja TTLL:jpn (XTL:und)
 TR:日本の古典 / 久松潜-[ほか]編||ニホンノコテン
 PUB:東京 : 河出書房新社
 AL:久松 潜-(1894-1976)||ヒサマツ, センイチ <DA00384081>

テキストの言語を限定しない

Author Link

著者名典拠レコードにリンク

RDAのメガネをかけてNACSIS-CATをみると

NACSIS-CATの雑誌書誌の構造

FILE:SERIAL
 <AA00039839> CRTDT:19850716 RNWDT:20070509
 GMD: SMD: YEAR:1858 19- CNTRY:us TTL:Lang TXT:Lang ORGL:
 REPRO: PSTAT:d FREQ:m REGL: TYPE:p
 ISSN:0046795 XISSN:01606514
 ULPNA:24461H GPON:
 TR: The Atlantic monthly : a magazine of literature, science, art, and politics
 VLYR: Vol. 1, no. 1 (Nov. 1857)-
 PUB: Boston : Phillips, Sampson & Co., 1858-
 PHYS: v. : ill. : 24-29 cm
 VT: AB : Atl mon (1857)
 VT: KT : The Atlantic monthly (1857)
 VT: VT : The Atlantic

タイトル変遷マップへ

	Continuation	Absorption	Separation
Former	CF	AF	SF
Successor	CS	AS	SS

Relationship Designators code
 関連識別子

NOTE: Absorbed by: [J. Galaxy](#) (New York, N.Y. : 1869)
 NOTE: VLYR: LC MARC: -[v. 149] (June 1993)
 FID: <200515>
 BHINT:AF: Putnam's magazine <AA00348039>
 BHINT:CS: The Atlantic <AA11061727>

Bibliographic History Note

RDAのメガネをかけてNACSIS-CATをみると

書誌変遷マップの例

雑誌変遷マップ表示

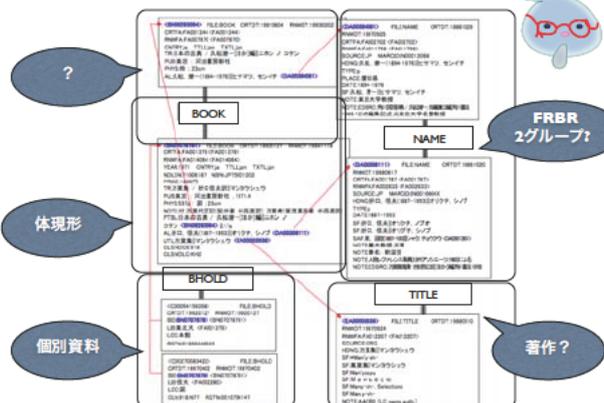
Continuation Absorption Separation

FID:20051500 履歴 → 吸収 → 派生

検索結果 13 件

- <AA00039839> The Atlantic monthly : a magazine of literature, science, art, and politics. -- Vol. 1, no. 1 (Nov. 1857)-.
- <AA11076746> The Critic. -- Vol. 1, no. 1 (Jan. 1881)-v. 4, no. 98 (Jan. 1884).
- <AA11091722> The Atlantic -- v. 227, no. 6 (June 1971).
- <AA00126275> Critic and good literature.
- <AA11091726> The Atlantic monthly. -- Vol. 228, no. 1 (July 1971)-v. 247, no. 3 (Mar. 1981).
- <AA00126309> The Critic. New series : a weekly review of literature, art and life.
- <AA10628166> The Atlantic -- Vol. 247, no. 4 (Apr. 1981)-v. 272, no. 4 (Oct. 1993).
- <AA00348072> Putnam's monthly and the critic : a magazine of literature, art, and life. -- 1 (1906)-.
- <AA10920899> The Atlantic monthly. -- Vol. 272, no. 5 (Nov. 1993)-v. 292, no. 5 (Dec. 2003).
- <AA00348080> Putnam's monthly. -- 1 (1907)-3 (1908).
- <AA11945095> The Atlantic -- Vol. 293, no. 1 (Jan./Feb. 2004)-.
- <AA00348083> Putnam's monthly and the reader. -- 3 (1908)-5 (1909).
- <AA00348039> Putnam's magazine. -- 5 (1909)-7 (1909/1910).

NACSIS-CATをRDAに重ねてみる...



まとめ

これからの「図書館」を
 どう考えるか、
 そのきっかけがRDA

ご清聴ありがとうございました。